

緊急度、優先度が高い施策や市民にとって必要な施策に重点を置いた予算配分を行ってまいります。

問 平成28年度のスポーツ施設の整備・改修計画は。

答 碧海グラウンド北面への防球ネット設置と、照明施設の大規模改修を計画しています。

問 (仮称)高浜緑地のグラウンド部分の上部整備の今後の予定は。

答 来年度は、多目的グラウンド部分の暫定供用開始を目標に工事を進めます。衣浦港務所ではグラウンドの造成工事や仮設駐車場の整備、高浜市では防球ネット設置工事など、上部設備の利用に供する工事を進めてまいります。

問 伝統文化・芸術の内外への発信状況は。

答 来年度愛知県では、全国レベルの祭典として文化イベントが開催されます。この祭典を通じて、高浜市の多様で個性豊かな文化を見つめ直し、郷土の文化と魅力を再認識し、地域の文化を育て、次世代に引き継いでいく意識の醸成を図ってまいります。今年度中に高浜市国民文化祭実行委員会を立ち上げ、伝統文化と芸術を内外に発信してまいります。



神谷 利盛 議員

平成28年度予算編成について
市政クラブ政策提言について

問 「市民の関心・愛着・誇りを持ち、力を合わせたまちづくり」の提言に対し、情報発信・情報共有への取り組みと成果及び職員力向上、人材育成に対する取り組みについて。

答 「広報たかま」の充実とフェイスブックの導入により、市民への情報発信に対しては一定の効果があつた。情報共有ではガイドラインをすでに作成しており、平成28年1月から運用していく。成果については、若手職員の「たかま地域経営実践塾」への参加、「しあわせつくり計画」プロジェクトへのチームとしての参加がある。今後、新庁舎建設事業で経験を積ませ、公共施設の建替計画に対応できる人材の育成を図っていく。

問 「アウトソーシング戦略」の検証はしているか。検証により戦略そのものも変化させていく必要があるか。

くことが必要だが、当局の考え方は。アウトソーシングを進めるにあたり、サービスの質の担保はできているか。

答 事業コストの縮減も必要であり、改めて「棚卸し」を行い検証していく。高浜市総合サービスやシルバー人材センター、まちづくり協議会を交えて、より効果的なアウトソーシングの方向性について討論している。

各委託先に対して、業務の質を担保するために、適正な監理・監督を今後も続けていく。

問 本庁舎整備事業にはどのような体制で臨むのか。また、この経験を今後の公共施設総合管理計画に対しては、どのように生かしていくのか。それを若手・中堅職員の育成に、どのようにつなげていくのか。

答 市長をトップとして「公共施設あり方推進本部会議」、「インフラ資産検討部会」を設置し、若手・中堅職員を積極的に参加させていく。その実戦経験を高浜小建替計画に反映させる。同時に、専門知識不足や技術不足を補填するために、民間ノウハウも積極的に活用して技術の蓄積を図っていく。お金を使わず、知恵と工夫を職員全員で出し合っ、公共施設の建替計画に対応していく。



杉浦 辰夫 議員

平成28年度予算編成について
市政クラブ政策提言について

問 「タカハマ！まるごと宝箱」と市民映画「タカハマ物語2」の今後の取り組みについて。

答 「タカハマ！まるごと宝箱」は、平成28年1月には「えんちよこ獅子」について、2月には「高浜市における養鰻の歴史」、3月には名古屋市立大学との連携による「かわら聞き書き冊子お披露目会」を開催予定。

「タカハマ物語2」は、平成27年11月8日に行われた鬼コンVOLE5でクランクアップし、現在編集作業を進め、2月21日に中央公民館ホールにて、上映会の開催を予定しています。

問 「目指す子ども像」周知の進捗状況について。

答 昨年度から、市内の3歳から15歳の子どもがいる世帯に「めざす子ども像」を周知するカレンダーを配布。また、高浜市立図書館と学校が連携し、親